

学童保育の社会的な役割を考える

—孤立の子育て、子どもの貧困、関係性の貧困という視点から—

「東京の学童保育を充実させる連絡会」（以下「充実させる会」）は東京都学童保育連絡協議会と三多摩学童保育連絡協議会が呼びかけ団体となり発足し、東京都への働きかけや、学童保育をめぐる区市の交流、学習を中心に活動しています。2009年10月の総会以降、11月には対都要請、2010年2月には「障害のある子どもの保育」、3月、7月には「都型学童クラブ」をテーマに、学習交流会を行ってきました。

子どもたちの世界における「三間(さんま。時間・空間・仲間)の喪失」は、年を追うごとに益々困難さを強めています。子どもたち同様、大人にとっても子育てと仕事の両立は大変厳しい状況にあります。「貧困と格差」が社会的な問題として取り上げられたのは記憶に新しいところです。

こうした中、今回の学習交流会では、社会的養護との関係から学童保育に求められている役割を考えていきたいと思えます。孤立の子育て、子どもの貧困、関係性の貧困が言われる今の時代にあって、学童保育の必要性が問われています。学童保育は単に「子どもをみているだけでいい」という場ではなく、指導員が子どもたちや保護者と関わることや、保護者同士が結びつくことの意味を改めて考えてみたいと思えます。お忙しいとは思いますが、ぜひご参加下さい。

【日 時】 2010年 9 月 12 日(日) 13:30~16:30(終了予定)

【場 所】 武蔵野公会堂 第三会議室 (JR 吉祥寺駅南口徒歩 2 分。)

【内 容】 ○講演「学童保育の社会的な役割を考える」

講師 下浦 忠治(元品川区学童保育指導員)

○質疑応答・交流

【参加費】 無料

【主 催】

東京の学童保育を充実させる連絡会

【問い合わせ先】

東京都学童保育連絡協議会

03-5907-6101

